



大石南中学校だより

五弁の花

令和4年度 臨時号「学校評価」

【学校教育目標】

人生の基礎を培い、夢を語り、
向上心と勇気を育てる
- 出合い、ふれあい、学びあい -

校長 大澤 聡
令和5年3月1日発行
電話 048-726-0511

令和4年度大石南中学校の学校評価がまとまりましたので、お知らせします。本校は学校経営方針「生徒一人一人を大切に、個性や能力を伸ばす教育の推進」のもと、生徒一人一人に目を向け、「生徒が主体的に考え、行動すること」に重点をおいた教育活動を進めてきました。その基盤となっているのは、運用4年目となった「石南 LIFE」（生徒が作った学校生活のきまり）です。今年度は、生徒の手によって一部改訂を行いました。また、昨年度から運用を始めた「大石南地区スター宣言」についても定着しつつあります。清掃の取組み「石南磨心清掃」も質的な向上をみせています。ここでは、教職員による今年度の自己評価の結果と、生徒・保護者のアンケート結果から紹介します。別添資料と合わせてご覧ください。なお、評価及びアンケートは7月と12月の2回実施しています。

1 「学校評価」(職員による自己評価) から

【評価できること】

(1) 「学習指導」

令和3、4年度上尾市教育委員会の委嘱を受け、学力向上の研究に取り組み、11月に研究発表を行いました。生徒の伸びを見とれる、埼玉県学力・学習状況調査においても、成果が表れています。

(2) 「生徒指導」

「石南 LIFE」を基盤とした生徒指導が定着してきました。教職員の共通理解に基づいた生徒指導や教育相談が行われており、いじめの早期発見や早期対応ができています。

(3) 「健康・安全教育」

特色ある取組みとして、上尾市防災士協議会の皆様のご協力により、「命を守る防災講座」を実施しました。また、令和2、3年度埼玉県教育委員会から「体力向上研究校」の指定を受けての取組みが評価され、本年度「全国学校体育研究優良校」として表彰されました。

【課題・次年度に向けて】

(1) 「学習指導」

基礎基本の定着、思考力・判断力・表現力の育成、については、課題があります。さらに研究を進めていく必要があると捉えています。また、ICT を活用した学習についてもさらなる研究を進めます。

(2) 「進路・キャリア教育」

本年度も、講演会や体験を通じた学習を積極的に実施しました。本校の卒業生による「ふれあい講演会」の実施や、東京校外学習における企業・官庁訪問などです。高校卒業後を見通せる進路指導ができるよう取組みを進めます。

(3) 「保護者・地域との連携」

P T Aの事業や地域の行事等が徐々に実施できるようになってきました、連携した事業を引き続き進めていきます。

2 生徒アンケートから

【評価できること】

学校行事への取組みが100%でした。また、力を入れている「磨心清掃」と本校の特色である「石南 LIFE」についても、生徒がしっかりと意識をもって関わることがわかります。落ち着いた秩序ある学校生活が送れていると生徒自身を感じてくれていると受け止めています。また、「公共のものを大切にしている」や「いじめやいやがらせは絶対にしない」の項目が高い数値となっていることは評価できます。

【課題・次年度に向けて】

職員の自己評価と同じく、学習についての評価が低いことが課題です。「家庭学習への取組み」「授業の内容がよくわかる」「提出物を期限を守ってしっかり出している」が低い評価となっています。昨年度から運用を始めた「大石南地区スター宣言」については、昨年よりもポイントは高くなっていますが、さらなる定着に向けて取り組みます。

3 保護者アンケートから

【評価できること】

7月と12月を比べると、12月の方がよい評価となっている項目が多くあります。「学校は、子供のことにについてよく相談に乗ってくれる」「学校は、子供の学力向上に努めている」「教師は、子供の間違った行動に対して適切に指導している」等の項目のポイントが高くなっています。

【課題・次年度に向けて】

「子供達は、宿題などの家庭学習をよくやっている。」については、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の割合が20%を超えています。12月調査では改善しつつありますが、引き続き来年度の課題とします。

4 学校関係者評価について

令和5年1月23日(月)本校多目的室にて、学校関係者評価委員会を開催し、本年度の学校評価、生徒保護者アンケートについてご意見を頂きました。学校関係者評価委員は学校運営協議会委員の皆さまにお願いしました。

【評価されたこと】

- (1) 適切な評価となっている。
- (2) 生活態度がよくなっている生徒が多い。
- (3) 磨心清掃の取組みはよい。

【次年度への課題】

- (1) 家庭学習が課題となっているが、その理由がどこにあるのかを考察したほうがよい。保護者とよく連携して取り組むべき課題である。

※別添した資料とあわせてご覧ください。